

1 関連する個別計画

PLAN

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
なし				

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があつて(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うことで(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針	
1	現状の市街地形成の状況や地域の人口の動向などとの整合がとれていないため	市全体として地域バランスがとれた適正な土地利用の規制・誘導を図り、適切に開発をコントロールしていくことにより	商業、工業、農業といった産業の集積による活性化と住宅地の形成による良好な市街地形成を図る。	1	都市計画の推進
				4	保全と開発の調和
2	市民の憩いやスポーツ活動など、日常的な公園ニーズに対応するため、	市が保有する5か所の都市公園について、指定管理者を中心に管理を充実させるとともに、新たなイベント等を企画運営することで	休息、散策、遊戯、運動などの屋外レクリエーションの場を確保する	1	都市計画の推進

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時(H17)		後期基本計画作成時(H20)		直近年度実績値(現状)		目標(H26)	
			年度		年度		年度		年度	
	適切な市街地の形成を図ります	街路の整備率	28.5%		H15		34.8%		H20	
		都市公園の供用面積	16.4ha		H15		23.6ha		H20	
							37.20%		H25	
							22.45%		H25	
							40.0%		H26	
									30.1ha	
									H26	

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時	直近年度実績値(現状)	目標
	なし					

4 構成事務事業・評価結果一覧

DO

CHECK

施策方針	事務事業 事業内容(実績)		予算額(単位:千円)		事務事業の概要								施策評価結果		
			H25決算額	H26予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性
1 都市計画の推進	1 都市計画総務一般経費	都市計画・建築住宅課	311	1,334(1,283)	市規定	府・一部	含む	内部管理	－	－	－	－	1	A	拡大
	都市計画業務の推進に係る事務経費														
	2 都市計画総務一般経費【明許繰越】	都市計画・建築住宅課	831	－	市規定	単費	○	内部管理	－	－	－	－	1	A	縮小
	新たに都市計画区域となる地域について建築基準法に基づく指定道路調査を実施														
	3 指定管理施設運営事業	都市計画・建築住宅課	49,995	51,839(48,839)	義務	単費	○	－	－	－	－	－	2	A	拡大
	指定管理による都市公園の維持管理(峰山途中ケ丘公園、峰山総合公園、八丁浜シーサイドパーク)														
2 農業振興地域の適正な土地利用の推進	他施策(農業の振興)内の施策方針1番(担い手対策の推進)と3番(中山間地の保全対策の推進)、4番(国営開発農地における営農の振興)、9番(足腰の強い農業・農村の基盤づくり)、11番(地域資源の利活用)を構成する事業により実施														
3 森林の保全	他施策(林業の振興)内の施策方針1番(森林整備の推進)と2番(森林環境の保全)を構成する事業により実施														
4 保全と開発の調和	1 地籍調査事業	都市計画・建築住宅課	115	6,826(2,596)	国規定	単費	○	内部管理	－	－	－	－	1	A	拡大
	地籍調査事業に係る準備経費(研修旅費等)														
		計	51,252	59,999(52,718)											

5. 歳出抑制の考え方について

ACT

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成27～29年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位:千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	なし		

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	01 都市計画総務費	50都市計画総務一般経費
細 事 業 名	01 都市計画総務一般経費			決算書 P.272
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	① 適正な土地利用の推進
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
311千円	403千円	92千円	77.1 %	547千円
目的	都市計画業務の推進及び都市計画審議会の運営に係る事務を円滑に進める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	都市計画業務（事業）を推進する上で必要な事務経費を支出した。 ○旅費（普通旅費、特別旅費） 116千円 ○需用費（消耗品費） 37千円 ○使用料及び賃借料 7千円 有料道路通行料 ○都市計画関連団体会費負担金（4件） 63千円 近畿地方都市美協議会、（社）日本公園緑地協会 京都府都市計画協会、全国街路事業促進協議会 ○都市計画関連研修参加負担金 88千円			
主な財源	府補 土地利用規制対策費交付金			51千円
評価・課題等	○都市計画区域の再編に伴い、区域マスタープランの原案調整に予定よりも時間を要し、策定に遅れが生じている。 ○都市計画区域の再編に関する諸手続きについて、平成27年3月に京都府決定されるよう業務を進め、次の段階として「京丹後市都市計画マスタープラン」の策定を進める必要がある。			
事業所管課	建設部／都市計画・建築住宅課			

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	01都市計画総務費	50都市計画総務一般経費	
細 事 業 名	01 都市計画総務一般経費（繰越）			決算書	P.274
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	① 適正な土地利用の推進	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②－①	執 行 率	（参考）繰越予算額	
831千円	1,000千円	169千円	83.1 %	1,000千円	
目的	都市計画業務の推進及び都市計画審議会の運営に係る事務を円滑に進める。				
主要な事務・事業及び成果の概要	都市計画区域再編に伴い新たに都市計画区域となる地域について、建築基準法に基づく道路条件の適合性を調査した。 ○委託料 831千円 建築基準法に基づく指定道路調査委託業務				
主な財源					
評価・課題等	建築基準法に基づく指定道路の調査を委託し、道路条件の適合性を把握するための準備を整えることができた。				
事業所管課	建設部／都市計画・建築住宅課				

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	03公園費	01公園等指定管理運営事業																	
細 事 業 名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.274																	
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	① 適正な土地利用の推進																	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②－①)	執 行 率 (参考) 当初予算額																	
49,995千円		49,999千円	4千円	99.9 % 50,766千円																	
目的	都市公園の峰山途中ヶ丘公園、峰山総合公園及び八丁浜シーサイドパークを適正に維持管理し、市民が快適、安心・安全に利用できるようにする。																				
主要な事務・事業及び成果の概要	指定管理施設の管理費等を支出した。 ○需用費（光熱水費、修繕料）264千円 ○役務費（保険料）119千円 ○委託料44,250千円 峰山途中ヶ丘公園・峰山総合公園指定管理委託料29,400千円 八丁浜シーサイドパーク指定管理委託料14,850千円 ○峰山途中ヶ丘公園・峰山総合公園用地賃借料202千円 用地借上面積：1,995㎡ ○工事請負費4,131千円 八丁浜シーサイドパーク修繕工事（照明改修、船形遊具解体）1,929千円 峰山途中ヶ丘公園修繕工事（スロープ等修繕、木製遊具改修）2,202千円 ○備品購入費1,029千円 峰山途中ヶ丘公園：テント3張、乗用芝刈機1台 峰山総合公園：硬式テニスネット3張 (参考) 峰山都市公園利用状況 <table><tr><td>施設名</td><td>利用者数</td><td>利用料金</td></tr><tr><td>峰山途中ヶ丘公園</td><td>83,144人</td><td>618千円</td></tr><tr><td>峰山総合公園</td><td>77,990人</td><td>1,941千円</td></tr></table> 八丁浜シーサイドパーク利用状況 駐車場利用状況 <table><tr><td>利用人数</td><td>25,610人</td><td>利用台数</td><td>6,596台</td></tr><tr><td>使用料</td><td>305千円</td><td>使用料</td><td>3,298千円</td></tr></table>				施設名	利用者数	利用料金	峰山途中ヶ丘公園	83,144人	618千円	峰山総合公園	77,990人	1,941千円	利用人数	25,610人	利用台数	6,596台	使用料	305千円	使用料	3,298千円
施設名	利用者数	利用料金																			
峰山途中ヶ丘公園	83,144人	618千円																			
峰山総合公園	77,990人	1,941千円																			
利用人数	25,610人	利用台数	6,596台																		
使用料	305千円	使用料	3,298千円																		
主な財源	使用料 都市公園占用料13千円 使用料 公有財産使用料144千円																				
評価・課題等	○都市公園の維持管理を適正に実施し、市民の安心・安全な利用に供することができた。 ○各都市公園の設備及び備品について、経年劣化が目立ってきており、毎年一定の更新をすることにより、安全で利用しやすい施設として維持していく必要がある。																				
事業所管課		建設部／都市計画・建築住宅課																			

予 算 科 目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	03地籍調査事業		
細 事 業 名	01 地籍調査事業				決算書	P.262
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	① 適正な土地利用の推進		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②－①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
115千円	135千円		20千円	85.1 %	135千円	
目 的	地籍調査事業により、土地の境界や地積を明らかにし、公共事業の用地取得の円滑化や土地の有効活用の促進を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	事業実施の準備を行うため、地籍調査の研修に職員を派遣した。 ○旅費（普通旅費） 職員研修旅費 87千円 ○需用費（消耗品費） 28千円					
主 な 財 源						
評 価 ・ 課 題 等	○平成26年度からの事業着手に向け、職員の知識を深めることができた。 ○長期間を要する事業であるため、計画的な事業推進及び職員体制の確保を図る必要がある。					
事 業 所 管 課		建設部／都市計画・建築住宅課				